

2026/3/30

名古屋大学情報基盤センター長
森 健策

【重要】次期スーパーコンピュータ「不老・弐」への移行に伴う代替システム利用のご案内

名古屋大学情報基盤センターのスーパーコンピュータ「不老」をご利用の皆様へ現在運用中の「不老」は、2026年10月より次期システム「不老・弐 (Flow 2.0)」へとリプレースいたします。これに伴い、新システムの稼働開始までの期間、研究活動を継続いただくための代替システムについてご案内申し上げます。

1. 次期システム「不老・弐」の運用開始について

「不老・弐」の運用開始は2026年10月を予定しております。10月以降は、最新の NVIDIA GB200等を備えた新システム「不老・弐」をぜひご活用ください。「不老・弐」については、以下の URL に順次情報を掲載します。

<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/sc/>

2. 移行期間中の代替システム利用の推奨

「不老・弐」の稼働開始までは、共同利用・共同研究拠点の他大学スパコン資源を活用いただくことを推奨しております。

CPU ノードの代替推奨：九州大学「玄界」

x86 CPU と大容量メモリを搭載しており、「不老・弐」の Type I と類似した構成です。オンラインでの利用申し込みが可能です。

GPU ノードの代替推奨：JCAHPC（東京大学・筑波大学）「Miyabi-G」

「不老・弐」に搭載される GB200 の前世代にあたる Grace CPU と H100 を搭載したシステムです。東京大学の窓口より一般利用の申請が可能です。

3. その他、拠点提供のスパコン一覧

このほか、以下の拠点においても CPU・GPU 資源の提供が行われています。

北海道大学：Grand Chariot 2

東北大学：AOBA-B

東京大学：Wisteria-Aquarius

東京科学大学：TSUBAME 4.0

京都大学：Camphor / Laurel / Gardenia

大阪大学：SQUID

各システムの詳細な利用規定や申請方法については、それぞれの拠点のウェブサイトをご確認ください。